



一泉

発行所 一泉同窓会

〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10-10

石川県立金沢泉丘高校内

TEL (076) 242-0211 FAX (076) 216-5656

E-mail: issen_knz@hotmail.com

2023(令和5)年3月31日 発行 第50号

一泉の桜

桜花爛漫、今年も心華やぐ季節を迎えました。一泉同窓会の会長に就任以来、毎年入学式に参列させていただいております。桜前線はその年によって変わるものの、いつも新入生を迎えるように校庭の桜が一斉に咲き誇っているイメージがあります。自分自身もかつて入学の時に抱いた高揚感を思い出させてくれます。これが卒業した今も私の原風景となっています。

一泉同窓会会長 中村太郎



春爛漫。桜が彩る校舎正門横—令和4年4月、撮影加茂谷慎治（泉丘34期）

一泉130周年記念「グローバルシンポジウム」 8月25日に金沢歌劇座で開催

1893（明治26）年に石川県尋常中学校として開校して以来、県立第一中学校、県立金沢第一中学校、県立金沢第一高等学校、そして県立金沢泉丘高校と名称を変えてきた「一泉」。この間、優秀な人材を国内外に輩出してきた。2023（令和5）年、創立130周年を迎えたことから、一泉同窓会は8月25日に「グローバルシンポジウム」を開催する。

シンポジウムは、「君の好奇心を満たす世界へ飛び出せ」ー地域発、創造力で世界を拓くーがテーマ。これまでの経験や常識では、先を見ることが困難な時代を迎える中で地域や社会の発展に貢献する人材の育成を図る。参加者は在校生とその保護者となる。

開催概要は下記の通り。

日 時：2023年8月25日（金）13：00～15：30

場 所：金沢歌劇座大ホール（金沢第一中学校の跡地）

基調講演：「“You are Unlimited!”可能性は無限大！

由水南氏（米国ブロードウェイ俳優、YU-project 主宰、泉丘54期）

特別講演：「脱サラして世界で戦う起業家になるまでの道のり」

綱川明美氏（株式会社ビースポーク代表取締役社長、デジタル庁行政調査会有識者）

パネルディスカッション：由水南氏、綱川明美氏

高木慎一朗氏（日本料理銭屋主人、2021年泉丘PTA会長、泉丘42期）

基金募金や桜植え替え事業も

このほか記念事業として、「グローバル人材教育支援基金（一泉基金）募金」や「校庭の桜植え替え」などを行う。

一泉同窓会基金は、創立100周年記念で、同窓生の寄付を原資として1993（平成5）年に設立。SGH認定に対する国助成が終了する中、SSH、SGH両プログラムを継続するため、新たに寄付金を募り基金を充実させて支援財源の安定化を図る。

校庭の桜は樹齢80年程度と高齢化が進んでおり、将来にわたって桜並木を維持するため、植え替えに着手、2043年度（創立150周年）までに完了する。

一泉同窓会基金寄付活動報告

*収支報告

寄付の累計 (2022年3月末実績)

金額	3,776,000円 (2019年10月より)
件数	50件
2022年度助成計画	合計額 3,650,000円
グローバル人材育成教育支援	2,450,000円
教育振興 (SSH, SGHほか)	300,000円
書籍購入	100,000円
通信制教育振興	100,000円
一泉賞	150,000円
バス購入積立	500,000円
国際交流活動助成	50,000円

*活動実績報告

スーパーグローバルハイスクール (SGH) 3年ぶりの海外研修 米国で大学や企業訪問

3年ぶりに実施されたSGコース米国海外研修は10月2日(日)から7泊8日の日程で行われ、参加した生徒たちは、ニューヨーク・マンハッタン、ワシントンDC、ニュージャージー州(プリンストン大学)を訪ね、課題研究の発表や意見交換を通して国際的な視野を広げた。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、海外研修は2年間実施が見送られてきた。ニューヨークでは、俳優としてニューヨークで活動する由水南さんを講師にワークショップに取り組んだ。プリンストン大学では、日本語を学ぶ大学生と交流し、英語でプレゼンテーションを行った。このほか、ITコンサルティング企業アバナードの事務所を訪問し、意見交換を行った。

生徒からは、次のような感想が聞かれた(一部抜粋)。「英語におじけず、自分から相手とコミュニケーションを取るという気持ちを持ってたくさんの外国人の方と触れ合うことができるようになった」▽「日本の常識は全く通用しない。周りが積極的で人間関係の概念



ワシントンDCで連邦議事堂を見学した生徒たち

が変わってコミュニケーションに対する抵抗感がかなり軽減された」▽「視野が狭かったことに気づかされました。アメリカでは日本の常識が覆

され、新しい発見や学びが多かった」。

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)海外研修 米国の大学や企業で学ぶ

2022年度の金沢泉丘高校理数科2年生海外科学研修は10月3日から10日まで行われ、参加した39人の生徒たちは、米国シリコンバレー近郊のカリフォルニア大学バークレー校やスタートアップ企業を訪問し、企業の研究者や海外の学生と交流した。海外研修は3年ぶりに行われた。

未来を担う科学技術系の人材を育成する狙いで、文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール(SSH)認定校に2022年度から5年間の指定を受けており、事業の一環として実施された。

生徒たちは、シリコンバレーに地域本社を構える楽天を訪問し、オフィスや周辺施設について説明を受けた後、企業で働くうえでの助言を受けた。カリフォルニア大バークレー校では、キャンパスツアーに参加し、大学院生との交流会に参加、日米の大学生活の違いについて話が盛り上がった。

生徒たちは、英語でプレゼンテーションを行うことを通して、発信力と他者の考えを理解する受信力を高め、グローバルサイエンスリーダーとして必要なスキルを身に付けた。

生徒たちは、次のように振り返った(一部抜粋)。

「実際に日本出身で世界に飛び出している人を見て今まで知らなかった新しいキャリアの形を知ることができました。知らない世界を覗くことで新しい刺激も受けられました」▽「海外に出て学ぶことの大切さを知った。日本では、技術や経済に関する最新の情報がすぐ耳に届くことは少なく、5年以上かかるケースがあるとわかった」▽「アメリカには最高の挑戦が集まっていて、常に輝くチャンスが転がっていると知った。少子高齢化が進む日本で私たちがど



う現状打破するかが大切だ」。学術・企業の関係者からさまざまなことを学んだ

坂上裕宣税理士事務所

坂上 裕宣 (泉丘37期)

〒924-0882 白山市ハツ矢町656
TEL076-276-3355 FAX076-275-2508
E-mail: hiro-sakagami@tkcnf.or.jp



シオハラ株式会社

代表取締役

塩谷 真一郎

(泉丘37期)



〒920-0931
金沢市兼六元町15番36号
TEL.076-232-1311
FAX.076-232-1309
E-mail shiohara@po.incl.ne.jp

HP



株式会社 福田紙器

代表取締役 福田長太郎 (泉丘37期)

〒921-8025 金沢市増泉5-8-13
TEL076-244-5525

一 泉 賞

奥田さんと鈴木さんに栄冠 令和4年度 一泉賞



奥田開斗さん



鈴木侑羽菜さん

令和4年度の「一泉賞」は奥田開斗（かいと）さん（3年）と鈴木侑羽菜（ゆうな）さん（同）が受賞した。

春の選抜で司会の大役も

奥田さんは放送部に所属し、全国の高校の放送部員らが校内放送活動などの成果を競うコンテストである2022年度第69回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会に出場、3年次に個人として石川県で初めて朗読部門で文部科学大臣賞（全国1位）に輝いた。また、ドキュメント作品制作でナレーションを担当、全国大会に進出した。奥田さんは3月18日に開幕した第95回選抜高校野球大会で、開会式の司会を務める活躍ぶりも見せた。



第95回選抜高校野球大会開会式で司会を務めた奥田さん（中央）＝甲子園球場

選考委員からも高い評価

鈴木さんは、第2回読書体験記コンクール（主催・公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会 後援・文部科学省、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、

集英社において、全国424校、76、163編の応募の中から、中央入賞8作の中に入り、一ツ橋文芸教育振興会賞（全国4～8位）に選ばれた。鈴木さんの「俳句甲子園漫遊記」は選考委員の作家・角田光代さんからも「本人が楽しんで書いていることが伝わる躍動感がある」と評価を受けた。

泉鏡花記念金沢市民文化賞に 松村昌子さん（泉丘10期）

金沢市が主催する第50回泉鏡花記念金沢市民文化賞は10月7日に発表され、能美市在住の松村昌子さん（泉丘10期）＝写真＝の小説『姫ヶ生水（ひめがしょうず）』（北國新聞社、2022年）が選ばれた。



「姫ヶ生水」は戦前の山里に暮らす母娘の人生を題材に、厳しい生活の中でささやかな喜びを見つけ、前を向いて生きる女性の姿をつづった長編小説。選考委員会では「展開が巧みで、並々ならぬ筆力を感じる」などと高い評価を受けた。

松村さんは、吉野谷村（現白山市）生まれ。約50年間にわたって九谷焼作家として活躍し、九谷焼初の女性伝統工芸士となった。二代ならびに三代徳田八十吉氏に指導を受け、現代美術展、日本伝統工芸展など入選・入賞は多数。祖母や両親から伝え聞いた話や生まれ育った白山市内の原風景をもとに創作を思い立ち、5年の歳月をかけて仕上げた。松村さんは「初めて書いた小説を出版、受賞につながったのは夢のようです。3年後をめどに続編を仕上げたい」と話した。

税理士法人 山内会計

社 長 山内 司（泉丘37期）
代表税理士

〒920-0024 金沢市西念3丁目29番32号
TEL 076-263-1490

さかえ内科クリニック

院長 大場 栄（泉丘37期）

〒921-8151 金沢市窪3-185
TEL076-280-3066 FAX076-280-3076
<http://www3.spacelan.ne.jp/~sakae/>



医療法人社団英樹会 津山クリニック

院長 津山 博（泉丘37期）

〒924-0024 白山市北安田町1270
TEL076-276-5501
E-mail : surg2.tsuyama@gmail.com

13人の先輩が職業を紹介

2年生の「社会人と語る会」

令和4年度の「社会人と語る会」は11月3日、泉丘高校で開かれ、幅広い分野で活躍する卒業生13人が母校の教壇に立ち、2年生に自身の仕事内容や経験などを語った。

「語る会」は生徒が、さまざまな職業を理解し、自らのキャリア形成のヒントを得る機会として開催された。

講師を務めた卒業生は国家公務員、弁護士、医師や、商社、機械メーカー、建築関係などの民間企業で活躍しているビジネスマン、起業家ら。多方面でリーダーや各組織の中核として存在感を発揮している。

先輩からそれぞれ活動内容や苦労、喜びなど生の声を聴いた後、仕事をテーマに“正解のない問い”を投げかけられた生徒たちは意見を出し合って職業について理解を深めた。

講師を務めたのは次の皆さん。

◇公務員・研究者（文系） 中野恵子（外務省文化交流・海外広報課人物交流室 泉丘47期）◇公務員・研究者（理系） 室野栄（国立研究開発法人 情報通信研究機構 泉丘38期）◇法律関係 弁護士 増江亜佐緒（奥野総合法律事務所 泉丘41期）◇国際関係 水野浩之（丸紅（株）素材産業グループ 泉丘40期）◇ビジネス 柄田秀樹（石川県住宅FP協会理事長 泉丘40期）◇ビジネス 原陽子（（株）アサヒビール 泉丘38期）◇ビジネス 山本雄貴（（株）ドローンショー 代表取締役社長 泉丘54期）◇ビジネス 深谷直紀（セカンドサイトアナリティカ（株） 取締役副社長 泉丘54期）◇医療関係 多賀正（たが整形外科ク



中野恵子さん



室野栄さん



増江亜佐緒さん



水野浩之さん



柄田秀樹さん



原陽子さん



山本雄貴さん



深谷直紀さん



多賀正さん

リニック院長 泉丘46期）◇医療関係 清水（小林）拓也（関西医科大学 医化学講座教授 泉丘38期）◇機械・電気・電子系 宮崎隆（澁谷工業（株）プラント生産統轄本部製薬設備技術本部長 泉丘35期）◇建築関係 役谷香里（（株）大林組 エンジニアリング本部 泉丘40期）◇コンピュータ 西田林生（アクセンチュア（株） 泉丘45期）



清水拓也さん



宮崎隆さん



役谷香里さん



西田林生さん



先輩から指導を受け、職業について考える生徒

卒業生が大学生活や学問の魅力語る 「先輩に学ぶプレゼン術」

1年生を対象にした「先輩に学ぶプレゼン術」は11月3日に行われた。講師を務めた東大、京大などの難関大学に進学した卒業生15人がそれぞれの大学生活や現在取り組んでいる学問の内容、その魅力などについて語った。

大学生講師は次の皆さん。

◇東京大学 浦田晃佑（文科二類）、井上里紗（文科二類）、磯邊優奈（理科一類）、新尚也（理科一類）、平林一成（理科一類）、猪谷隆幸（理科二類）、若林勇太（理科二類）◇京都大学 森永眞央（法）、山岸丈紘（文・人文）、岡本龍季（工・情報）、堀岡勇杜（工・物理工）◇一橋大学 山田拓弥（商）◇東北大学 馬場陸郎（医・医）◇金沢大学 木野聡万（医薬保健・医学類）、西田光佑（医薬保健・医学類）

js より良い仕事を、より多くの人に
株式会社 ジョブシステム

代表取締役社長 村上 啓太（泉丘37期）

〒921-8041 石川県金沢市泉2-2-13
TEL076-218-6555 FAX076-243-8118
E-mail: km@jobsys.jp

小泉ブレード株式会社

代表取締役社長 小泉 悟（泉丘37期）

〒929-1215 かほく市高松レ33-2
TEL076-281-3537 FAX076-281-3119
E-mail: skoizumi@veinage.jp

医療法人
三秋整形外科医院

院長 三秋 謙太郎（泉丘37期）

〒920-0015 金沢市諸江町上丁320-1
TEL076-223-2155 FAX076-223-2156

同窓会だより

第63回関東一泉同窓会総会・懇親会 3年ぶりに対面で開催

第63回関東一泉同窓会の総会・懇親会は11月19日、東京都新宿区のハイアットリージェンシー東京で開催された。対面による開催は3年ぶり。開催を待ちわびた303名の同窓生が集った。本部一泉同窓会からは中村太郎会長（泉丘35期）、清水義博前会長（同22期）ら3名と中村義治泉丘高校校長が来賓として出席した。

総会であいさつに立った北川秀二関東一泉同窓会会長（同30期）は、同窓生が集う意義を語った。中村会長は現役生への支援が一泉同窓会の役割として重要であると考えていると説いた。

懇親会では、これまで長年、最年長出席者として乾杯の音頭を取られ、9月に104歳で亡くなられた古澤英雄さん（一中42期）のありし日の映像で乾杯の音頭が行われた。一中、泉丘の校歌を映像に合わせて全員が心の中で斉唱し、次の回の再会を誓ってお開きとなった。（文責：諸野 普）

今回は、古澤英雄氏の在りし日の映像（2018年関東一泉同窓会での乾杯時挨拶）に合わせて乾杯



泉丘42期 総会懇親会幹事団

母校への支援を誓う 3年ぶりに一泉同窓会

創立129周年記念・令和4年度一泉同窓会総会・懇親会は10月15日夜、金沢市のANAクラウンプラザホテル金沢で開かれた。今年度幹事期の泉丘39期が掲げたテーマは「新しい時代、新しいカタチ、新しい一泉」。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、会場開催は3年ぶりで、一中および泉丘30期までと通信制を第1部、泉丘31期以降を第2部とする2部制で行われた。出席した約500人の同窓生は、次年度創立130周年の節目を迎える母校のさらなる発展を祈った。

総会では、諸野普一泉同窓会事務局長（泉丘22期）がグローバル人材教育支援のための基金募金をはじめとする創立130周年記念事業や同窓会活動について、総会資料に基づき説明が行われた。懇親会は、近岡猛さん、永井三岐子さん（いずれも泉丘39期）が司会を務め、応援歌ならびに校歌斉唱のあと、林隆信副会長（同22期）の発声で乾杯をして締めくくった。



3年ぶりに会場で開催された総会・懇親会



株式会社フクズミ
代表取締役 福住 裕（泉丘37期）
〒942-0877 石川県白山市中町7 TEL076-275-0077

カーコンサルタント **L.E.M**

代表 小西 俊輔（泉丘37期）

〒920-0994 金沢市茨木町58-6
TEL076-221-5036

宮下運輸

代表取締役 鍋島 充（泉丘37期）

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-21
TEL076-238-7350 FAX076-238-7352

OB会だより

野 球 部

野球部創部115周年を祝う 元プロ野球選手の斎藤祐樹さんをゲストに

「金沢泉丘高校野球部創部115周年記念講演会」は11月12日、金沢市のANAクラウンプラザホテルで行われ、一泉野球部、泉丘高校野球部のOB、高校野球部の現役部員、保護者や県内の学生野球指導者ら約200人が参加し、野球部の発展を祝った。斎藤祐樹さん(元日本ハム投手)の基調講演とトークセッションも行われた。一泉野球部OB会が主催した。

斎藤さんの基調講演では、現役野球部員との質疑応答で野球と学業の両立についての助言があった。トークセッションではOB会長の能崎晋一さん(泉丘35期)、百々大介さん(同48期)、松本和将さん(同59期)が登場し、野球人生から得られた経験について語った。

東京六大学野球の早慶戦で対戦した松本さんとの親交から斎藤さんの招へいが実現した。斎藤さんは在学時、松本さんに打たれてノーヒットノーランが阻止されたエピソードを披露するなど、場内は終始和やかな雰囲気包まれた。

(泉丘45期 土倉拓樹、野球部OB会事務局長)



斎藤さん(左から2人目)を交えて行われたトークセッション

桜 美 会

第50回一泉桜美会美術展開催 100点を超える作品が出展

金沢一中・泉丘高校卒業生で構成される「一泉桜美会」の会員と在校生による「第50回一泉桜美会美術展」が10月12日から16日まで、金沢21世紀美術館の市民ギャラリーで開かれ、同窓生、在校生、市民らでにぎわった。美術展には、会員40名が64点、在校生38名が38点、計102点の作品を出展した。

一中卒業生の出展はなかったものの、薄波靖子さん(泉丘6期)の力強い日本画や田川久美さん(同18期)のグラス酒器セットの仕覆(しふく)、新田千鶴子さん(同18期)による150号クラスの大作絵画などが展示され、会場を盛り上げた。例年より1日少ない開催期間でありながら過去最多の1350名の来場者となった。会員の出展構成は、絵画45%、写真38%、書・刻字9%、陶芸・彫刻等その他8%であった。一方、在校生の作品は年々仕上がりが高まっており、将来を期待させた。在校生の出展構成は、絵画42%、写真21%、書37%であった。

(泉丘18期 藤島寛仁、一泉桜美会事務局)



絵画や写真などの作品が並び、会場を盛り上げた

金沢滞在を、真の金沢体験へ。

ANA
CROWNE PLAZA®
AN IHG HOTEL
KANAZAWA

ANAクラウンプラザホテル金沢
〒920-8518 石川県金沢市昭和町 16-3



一期一線のおもてなし。

〒920-0853
石川県金沢市本町2-15-1(JR金沢駅兼六園口前)
TEL 076-234-1111(代) www.hnkanazawa.jp



泉丘41期生で、映画やドラマの脚本家として活躍する中川千英子さん。映画『10万分の1』（東京国際映画祭特別招待作品）、『きょうのキラ君』やドラマ『ホテルコンシェルジュ』などの脚本を執筆し、『NHK連続テレビ小説 らんまん 上』『NHK連続テレビ小説 エール 上・下』のノベライズを担当されています。3年ほど前からは、珠洲市を舞台にした映画製作にも打ち込まれています。中川さんに高校時代の思い出や最近の活動について寄稿いただきました。



中川千英子さん

東京に憧れる「フワフワした女子高生」が脚本家に

大学進学を機に上京し、都内で暮らしています。脚本家という職業を人に伝えると「学生時代は文芸部とか演劇部だったんですか？」と言われることがありますが、実際は高校時代は剣道部に所属していました。お世辞にも真面目とはいえない部員で、一年生の終わりに退部しています。その分、勉学に励んでいたかといえ決してそうではなく、何となく東京に憧れて、「将来は東京で働きたいなあ」とフワフワ考えていただけの女子高生でした。

その後、大学を出てからは会社勤めをし、「脚本家

『泉丘時代が私の原点』中川千英子さん(泉丘41期)

をめざそう」と思ったときにはもう三十代。会社勤めを続けながら脚本の教室に通うところからスタートし、小劇場での演劇公演の脚本を書くなどの経験を積み、「会社を辞めて、脚本一本でやって行こう！」と決意した時には三十代の半ばを過ぎていました。両親は私の決断にあきれていましたし、身近な人からも「大丈夫なの？」と心配されることが多かったです。

専業脚本家になると、経済的にも精神的にもハードな日々が続きます。その時期、心の支えになったのは、高校時代からの友人たちの言葉でした。例えば、久しぶりに連絡をくれた友達が「脚本書いとるって聞いたよ。ぴったりやね！」と声を掛けてくれたのです。

消えかけた自身を取り戻せた友の言葉

「脚本家に向いている」という友人たちは、高校時代の私の「隙あらば笑いを取ろうとして、ベラベラよくしゃべる姿」を思い浮かべていたのだらうと思います。自分を知っている人たちが「向いとるよ」と言ってくれたことが、消えかけていた自信を取り戻してくれたのです。おかげで自分を信じて書き続けようという気持ちを取り戻すことができました。

脚本家になりたての頃は生きるのに必死で、同窓会に出席する余裕もありませんでしたが、5年前にふと思い立って関東一泉同窓会に出席しました。以来、大勢のみなさんとのお付き合いが続いています。映画公開時や本の出版時には同窓のみなさんが情報をシェアしてくれ、感想を知らせてくれたりすることも多く、

いつもありがたうれしく思っています。

『すずシネマパラダイス』の映画化へ。応援に感謝

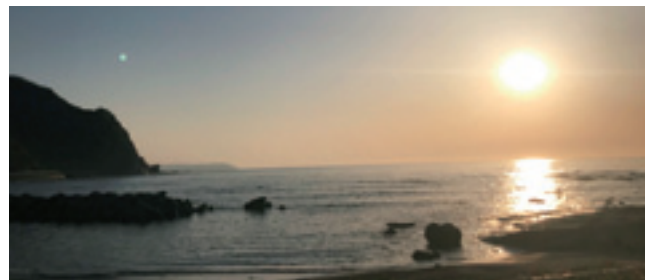
中でも現在、映画化に向けて企画を進めている『すずシネマパラダイス』という作品は、一泉のみなさんに支えられている作品だと思っています。「すずパラ」は珠洲市を舞台にしたコメディで、2019年に小説版をネットで公開したところ、石川県在住、出身のみなさんを中心に反響をいただき、「ぜひ映画化してほしい」という声も数多く

いただいています。現在は石川県内、

東京の両方で多くの方にご協力いただき企画を進めています。PR用の自作のチラシを一人で配っていたところ、同窓のみなさんが配布に協力してくださったり、SNSで情報をシェアしてくださったりしたおかげで、北國新聞、MROラジオなどの地元メディアでも度々ご紹介いただいています。

くじけずに取り組み続けられているのは、同窓のみなさんの応援のおかげです。『すずシネマパラダイス』の小説版は現在もネット上で全文無料公開していますので、タイトルをネット検索していただき、ぜひ読みいただければと思います。

これまでに脚本を書いた映画作品『きょうのキラ君』（中川大志さん主演）や、『10万分の1』（EXILE 白濱亜嵐さん、平祐奈さん主演）などはAmazon prime videoやレンタルでご覧いただけます。配信、レンタル中の作品は、高校生が主人公の恋愛モノが多いのですが、「ターゲットは若い女性だけれど、大人も感動する作品」としてメディアで紹介いただいております、ご覧いただけたらうれしいです。



珠洲市仁江海岸

一泉文庫管理表

2022年度寄贈分

寄贈・購入日	寄贈・購入別	書名	著者	購入・寄贈者
2022/8/1	購入	1961年のパリだより	片瀬 貴文 (一中55期)	事務局購入
2022/9/12	寄贈	加賀一向一揆	西田谷 功 (泉丘8期)	西田谷 功 (泉丘8期)
2022/10/7	寄贈	歌集 不急のたより	高橋 協子 (泉丘8期)	高橋 協子 (泉丘8期)
2022/10/27	寄贈	文学教育の思想	西田谷 洋 (泉丘37期)	西田谷 洋 (泉丘37期)
2022/11/10	寄贈	姫ヶ生水 (第50回泉鏡花記念金沢市民文学賞受賞)	松村 昌子 (泉丘10期)	中山 一郎 (泉丘10期)
2023/2/24	寄贈	食卓の小さな遊び 箸置きの世界	串岡 慶子 (泉丘17期)	串岡 慶子 (泉丘17期)

東大に23人、京大に27人合格 (令和5年度入試 前期結果)

東大、京大など国公立大学の令和5年度入試合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大23人(現役10人)、京大27人(同15人)が合格した。東大現役合格者のうち2名は推薦入試による合格である。なお、記録が残っているここ25年間では、東大は最多、京大は最多タイとなる快挙である。

東大と京大の最難関2大学の合格者数を近隣他校と比べると、石川県内では金大附属(東大11、京大4)、小松(東大5、京大4)、七尾(東大2、京大1)と、今年度も大きく上回った。富山県では、富山中部(東大25、京大4)、高岡(東大10、京大6)、富山(東大9、京大4)であった。

その他の難関国立大では、阪大30人(現役14人)、神大23(同18人)、名大12(同7人)、北大11(同7人)、東北大11人(同8人)、九大3人(同3人)、一橋大2人(同0人)、東工大1人(同1人)であった。

なお、地元の金大には56人(現役50人)、うち医学類には14人(同13人)が合格した。国公立大学医学部医学科全体の合格者は27人(同20人)であり、このうち東北大に1人(同1人)、神大に2人(同1人)合格した。

5年ぶりに一泉行列 「一中魂」受け継ぐ気概示す

令和4年度の「一泉行列」は8月30日に行われ、同窓生と高校生合わせて約300人が金沢市内を練り歩き、一中魂をアピールした＝写真＝。創立記念祭の前日行

事として実施される一泉行列は天候不良や新型コロナウイルスの影響で中断されており、5年ぶりに実施された。



編集後記

新型コロナウイルス感染者の国内初確認から3年余り。マスク着用が個人の判断に委ねられるようになり、イベントの「声出し」解禁、国際的な人の往来再開など街は「日常」を取り戻しつつあるように見受けられます。泉丘高校生の海外研修が再開され、同窓会も対面で開催されるようになり、陰鬱だったコロナ禍を経て、次第に朝の光が差し込んできたように思われます。

3月に開催された選抜高校野球大会で本校3年生の奥田開斗さんが司会の大役を務められました。泉丘10期の松村昌子さんは昨年、70歳代後半から書き始めた小説「姫ヶ生水」で泉鏡花記念金沢市民文学賞を受賞されました。幅広い世代の同窓の方々がそれぞれの道で活躍をされています。「朝の来ない夜はない」と色紙によく揮ごうしたのは『宮本武蔵』で知られる作家・吉川英治氏。同窓の皆さまの活躍に刺激を受けて新しい春、新しい朝に向き合っていきます。(か)

「一泉」編集室

中山一郎(泉丘10期) 小林弘子(同12期)
藤原 励(同23期) 加茂谷慎治(同34期)
東野理実子(同36期)
題字・普神貴行(一中56期・泉丘2期)

同窓会幹事代行承ります。

TEL 0120-953-070

受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00

同窓会のトータルプロデュース企業

株式会社 サラト



株式会社 橋本確文堂

取締役会長 橋本 勝郎
(泉丘12期)

金沢本社 〒921-8025 石川県金沢市増泉4-10-10
TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945
東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-12
TEL: (03)5472-7030 FAX: (03)5472-5101

www.mba.co.jp